

下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（議事録）

平成17年3月25日（金）

第18回（第3期第8回）江東内部河川流域連絡会を開催



旧中川で遊ぶ園児



会議の様子

- ・「第18回（第3期第8回）江東内部河川流域連絡会」を、午後3時から午後5時30分の約2時間半、東京都庁第一庁舎42階北側特別会議室Bにて開催しました。
- ・都民委員11名と行政委員7名等が参加しました。 名簿は6ページ
- ・主に江東内部河川通航ガイド、第3期流域連絡会の活動記録、都民委員からの質問・意見・提案などについて討議しました。また、午後6時より懇親会を行いました。

流域連絡会の議事の概要

江東内部河川通航ガイド(案)について

東京都建設局河川部から、江東内部河川通航ガイド(案)の説明が行われました。

目的

江東内部河川における船舶利用者の安全通航や水鳥・水際植物等、自然環境の保護を目的に通航ルールを定めます。

「江東内部河川における通航方法」が適用される区域

- 1.旧中川 2.北十間川 3. 豎川 4.小名木川 5.仙台堀川 6.平久川 7.大横川
8.横十間川 9.大横川南支川 10.大島川西支川 (計 10 河川)

江東内部河川における通航方法

江東内部河川全域で適用となる通航方法

水上オートバイ等の使用禁止 ---- 護岸や橋梁桁下への接触事故を防止するため通航を原則禁止する区域



現地状況に合わせて設定した区域で適用となる通航方法

自然保全区域 ----- 河岸の自然環境を保全するために、船舶の通航を原則として禁止する区域
(旧中川の江東新橋～平井橋の岸寄り)



減速区域 ----- 動力船の波によって低水路の歩行者や手漕ぎボート等の利用者、係留船舶、自然環境に支障を与えないように減速する区域
(旧中川、小名木川などの水位低下した東側河川)



船舶等通航禁止区域 ----- 動力船、非動力船に関らず、船舶の通航を原則として禁止する区域
(北十間川の東武橋～京成橋)



上空高注意区域 ----- 感潮区間において、船舶等が橋梁等に接触することがないように、水位変動や橋梁高に注意し通航する区域
(小名木川、大横川、豎川などの西側河川)



施設管理区域 ----- 河川管理施設等の操作に支障が生じないように船舶等の通航を制限する区域
(水門、排水機場、閘門など)



通航ガイドについて意見交換

都民委員 行政委員

自然保全区域については、手漕ぎボートなども含めて原則的に禁止なのか。
基本的に、動力船に限らず手漕ぎボートも全ての船舶が通航できないこととなります。
川岸から7メートルの幅が通航禁止となります。
新設される荒川ロックゲートについて、日曜日は開閉しないことになっているのか。
荒川ロックゲートについて、扇橋閘門に合わせて日曜日は閉鎖する予定です。
通航ルールの検討にあたっては、どれくらいのボートが入っていることを想定しているのか。ボート利用者としては、よほどの必要がない限り動力船を入れない方がよい。
河川は原則的に自由通航なので、どの船でも通れるようになっています。現状でも、扇橋閘門からプレジャーボート等が入ることは可能です。荒川ロックゲートが完成すると、区域内にプレジャーボートが増えることが予想されるので、提案のような通航ルールを検討しているところです。
旧中川と小名木川の合流点あたりに、係留施設をつくる計画があるのか。以前、パンフレット等に記載されていたのを見たことがある。
以前、旧中川マリーナについて構想はありましたが、現在、具体的な計画はありません。
公園化された旧中川に、たくさんの船がいきなり入ってくるのは心配である。
通航のルールがなければ、さまざまなトラブルが予想されます。河川は自由通航という原則の中で、一定の通航ルールをつくって、皆様に協力してもらいましょうということで、検討を進めています。
「お江戸深川さくらまつり」で、櫓漕ぎの和船と東京海洋大学の動力船が1日に6~7回通航が重なってしまう。ここでは船を操船される方がマナーをよく分かっているので、問題なかった。しかし、櫓漕ぎなどの非動力船と動力船の共存について、動力船が慎重にやるべきだという規制は必要と思う。

第3期流域連絡会の活動記録(案)について

当流域連絡会における第3期の活動記録の原案について事務局から説明がありました。構成は、1 目的、2 対象河川、3 構成、4 活動の概要、5 活動の主な成果、6 委員の意見と感想です。
「活動の主な成果」については、都民委員からの意見や提案等と、それに対する対応及び方針を項目毎に整理しました。「委員の意見と感想」については、都民委員並びに行政委員のほとんどの方々から執筆していただきました。
この活動記録は、写真や文書等を追加修正して早急にまとめていきます。

都民委員からの質問・意見・提案について

都民委員 行政委員

前記の「委員の意見と感想」の中で都民委員からの質問・意見・提案と、それに対する回答を通して意見交換を行ないました。

都民委員の質問・意見・提案	行政委員からの回答要旨
<p>(1) 水質などについて 荒川と江東内部河川の水質比較(質問)</p> <p>雨天時における合流式下水道からの放流水の水質(意見・質問)</p> <p>雨天後の江東内部河川の水質(意見・質問) 魚の大量死の防止対策(放流口等のばっき等)(意見・質問)</p> <p>「油・断・快適!下水道」キャンペーンの効果などのPR(意見・質問)</p> <p>水再生センターにおける下水の処理効果などのPR(意見・質問)</p> <p>下水道幹線整備計画の幹線整備ルートと完成時期(質問)</p> <p>江東内部河川の整備計画と水質改善計画(質問)</p> <p>河床を掘り下げて汚れていない砂や土をまく(提案)</p> <p>水質のゾーニングの導入(北十間川を浄化と真水化して泳げる水域と魚貝類の移入)(提案)</p> <p>旧中川の客土を厚くして水草や貝が生息できるように整備(提案)</p> <p>既設鋼矢板の強度・耐用年数、さびと水質の関係(質問)</p> <p>固化したダイオキシンの搬出時の汚染と移転先における地下水の汚染(質問)</p>	<p>荒川の平井大橋では江東内部河川と変わらない水質で、さらに下流の葛西橋では海水の影響もあり荒川の方が水質は良好です。</p> <p>下水道法施行令の改正により、砂町水処理センターの放流水も含めた雨天時の平均放流水質が一定の基準(平均 BOD70ppm)を満たすこととなりました。平成 15 年度の測定データでは、平均で BOD58ppm となっています。</p> <p>環境省の水質測定法の基準で調査しており、雨天後の水質のデータはありません。</p> <p>河川の深い部分が汚れている場合、ばっきにより悪臭が発生する恐れがあります。</p> <p>具体的にどのくらいPRの効果があったかは把握できていませんが、合流改善クイックプランの推進も併せて行なった結果、お台場へのオイルボール漂着回数は減少しています。</p> <p>下水処理効果のPRについては、見学会などで水再生センターの処理施設を見ていただいています。キャンペーンとも併せて他の方法も検討していきます。</p> <p>合流改善の下水道幹線は、三之橋ポンプ所付近と業平橋ポンプ所付近を結ぶ幹線であり平成 19 年度完成を目指しています。</p> <p>現在、整備計画は、国に申請中です。認可後に公表を予定しています。</p> <p>具体的な水質改善計画はありませんが、しゅんせつや浄化用水導入などを引き続き実施していきます。</p> <p>河床を固めて、河床の上の部分だけ土を残しているため困難です。</p> <p>泳げるまでの水質浄化などは現状では困難です。</p> <p>魚貝類は原則として移入しませんが、今後検討していきます。</p> <p>地盤改良上端の高さが高い部分は客土がないため、生物の生息は困難ですが、部分的に地盤改良上端の高さを下げ客土を厚くして生息できるように検討中です。</p> <p>鋼矢板は設計上 50 年の腐食を考慮してありますが、予想以上に腐食が進んでいます。さびと水質の関係についてはデータがなく分かりません。</p> <p>将来の撤去の際には、固化したダイオキシンを搬出時並びに移転先で二次汚染がないよう検討しています。</p>
<p>(2) 流域連絡会について 流域連絡会を2ヶ月に1回の開催(意見)</p> <p>域連絡会のOB会を作り役所に対して検討してもらう窓口の設置(提案)</p> <p>都民委員の感想・意見・提案について話し合う(意見)</p>	<p>2ヶ月に1回の開催は現状では困難です。</p> <p>OB会については事務局で検討していきます。検討の窓口も内部河川工事課又は事務局と考えています。</p> <p>今後、話し合うことが多くなるような運営方法も検討していきます。</p>

都民委員の質問・意見・提案	行政委員からの回答要旨
<p>(3) その他</p> <p>遊歩道に街灯とトイレや水場の設置(質問)</p> <p>遊歩道で川に落ちた時の対策(意見)</p> <p>閘門・排水機場等の施設の公開(提案)</p> <p>かつての護岸を一部残す・昔の写真を設置する・絵タイルを地面にはめ込む(提案)</p> <p>小名木川の整備に合わせて船着場の建設(提案)</p> <p>和船を運行しNPO法人化して運営(提案)</p>	<p>江東区では、防犯上必要なところは街灯を設置していく予定です。トイレについては、河川でなく道路など利用の多いところに設置しています。水場については、ホームレス等の問題があり設置が困難です。</p> <p>北十間川や小名木川については、水際に転落防止柵を設置する予定です。また100mごとに、はしごの設置を検討しています。江東治水事務所水門管理課へ事前に申込みのうえ、施設を見学していただいています。</p> <p>何度も護岸をかさ上げし、昔ここまで水位があったことを知っていただくため、護岸の一部を残すことを検討しています。昔の写真や絵タイルについては、費用面を考慮して検討していきます。</p> <p>小名木川の船着場については、現在4箇所あり残す方向で検討していますが、これ以上の建設は現在考えていません。</p> <p>区運営の水上バスを廃止した経緯があり、新たな費用負担は難しい状況です。</p>

学校に協力をお願いし、「油・断・快適!下水道」のパンフレットを、子供を通して配布ができないだろうか。

パンフレットで家庭に周知するなら、地域の回覧板をうまく使うことも考えられる。

雨天時に河川の水質が悪くなるのであれば、雨天時にも水質を観測して、参考値としてでもデータを公表してほしい。

川や関連する史跡と施設を活用し、まちづくりやまちおこしを地域住民で考えて、行政にも要望を出していきたい。

「油・断・快適!下水道」のパンフレット



「江東内部河川水質改善対策検討会」の報告について

事務局から当検討会の報告書についての説明が行われました。

この報告の最後で、「都民の方々、関係区、都の関係部局が相互に連携をとりながら、より一層の水質改善対策を進めていくことが大切です」とまとめています。

その他について

事務局から「お江戸深川さくらまつり」、江東区から「小名木川歩行者・自転車専用橋(仮称)」、江戸川区から「旧中川への桜植樹の完了」、「旧中川ポートフェスティバル 2005」について説明と報告が行われました。

流域連絡会の今後の予定

今回で第3期の活動を終えて、次回の流域連絡会からは第4期となります。新しい都民委員の募集については、5月上旬の各区の区報を予定しています。

江東内部河川流域連絡会・委員名簿

平成17年3月25日現在
敬称略 都民委員は区別・50音順

		住所・団体名	氏名
都民委員	個人	墨田区	慶野 とよ子
		墨田区	小出 義隆
		墨田区	田中 兼勝
		墨田区	増田 淳子
		江東区	菊地 進一
		江東区	黒木 正幸
		江東区	戸田 紀美子
		江東区	氷見 修三
		江戸川区	江頭 正恭
		江戸川区	谷川 貞夫
	江戸川区	山内 久二	
	団体	江東区和船友の会	河合 未二
		江東区の水辺に親しむ会	須永 倭子
		東京海洋大学海洋工学部	深野 利幸
		江戸川区人力共漕会	五十井 恵
		所属・職名	氏名
行政委員	墨田区都市計画部都市整備担当都市整備課長		小山 季廣
	江東区土木部水辺と緑の課長		井熊 章
	江戸川区土木部計画課長		高井 聖
	東京都環境局自然環境部水環境課長		芳賀 道子
	東京都下水道局建設部土木設計課長		坂根 良平
	東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長		飯塚 保
	東京都建設局河川部副参事(河川管理制度担当)		熊本 敬治
	東京都建設局河川部副参事(総合治水・低地河川防災計画担当)		新谷 景一
	東京都建設局第五建設事務所管理課長		大野 正實
	東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長		清水 孝之
東京都建設局江東治水事務所水門管理課長		大塚 好夫	

座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：小菅、長尾

TEL：03-3692-4945（直通） **FAX** 03-3696-6499